

2021年8月5日

令和3年度保健師等ブロック別（近畿地区）研修会

# コロナ禍における母子保健の取組の展開

～住民がコロナ禍でも安心して  
妊娠・出産・育児ができるために～

奈良県中和保健所

健康増進課 母子・保健対策係 上野 恵

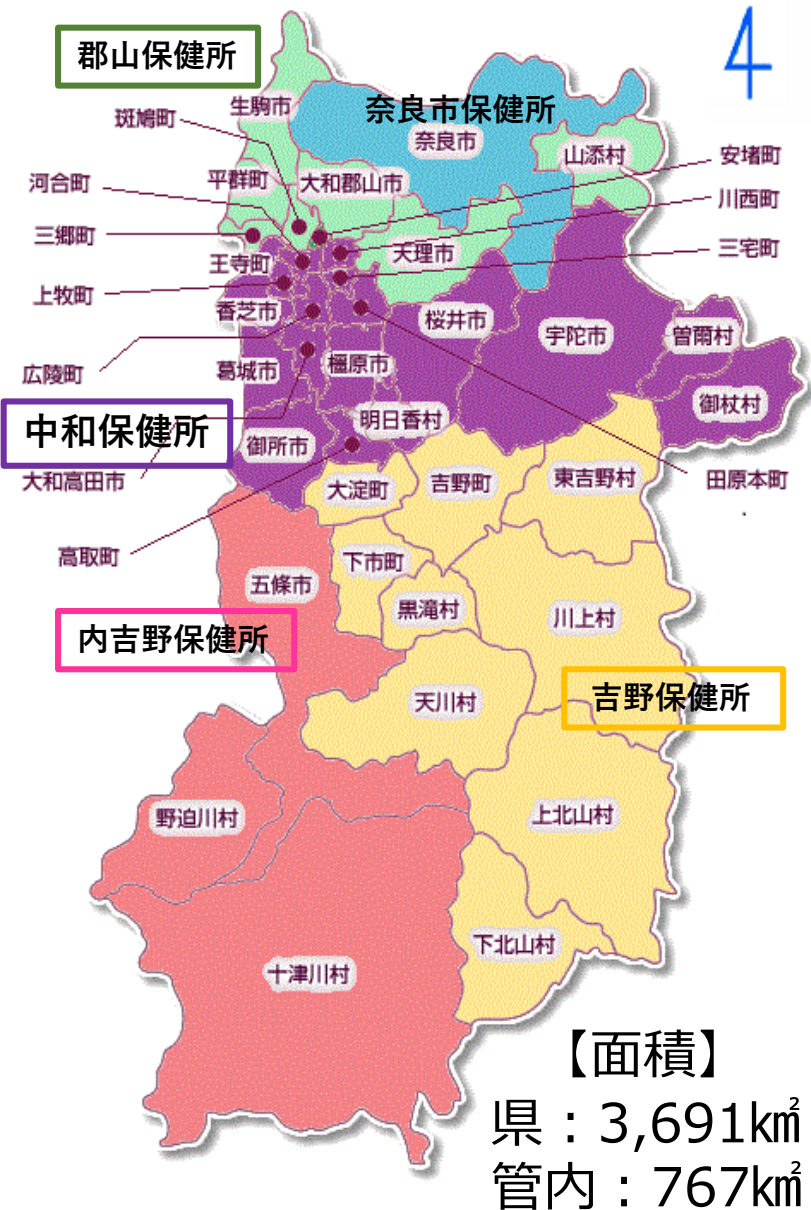
# 本日の内容

- 1 奈良県中和保健所の概要
- 2 covid-19発生状況（県）と母子保健の取組
- 3 母子保健事業の感染予防対策
- 4 考察
- 5 まとめ

## 県型保健所

# 1 奈良県中和保健所 概要

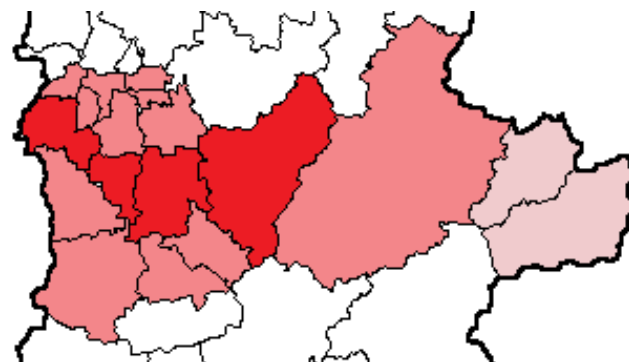
4



### 【人口】

管内	560,321
県	1,319,305

(R3.3.1時点人口推計)

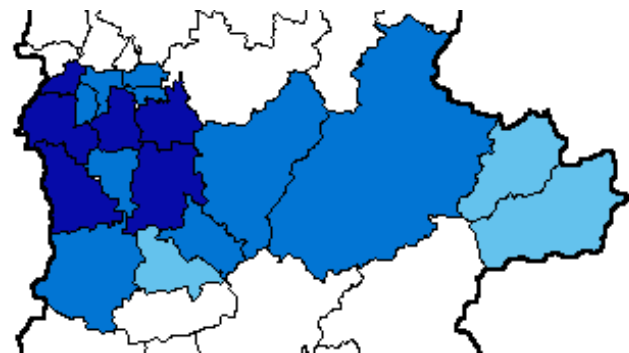


■ : 5万人以上  
 ■ : 5千人以上5万人未満  
 ■ : 5千人未満

### 【出生率】

管内	6.7
県	6.3
全国	7.0

(R1年人口動態総覧)

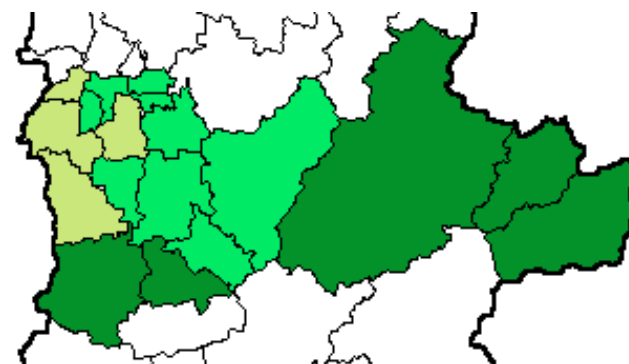


■ : 7.0以上  
 ■ : 3.0以上7.0未満  
 ■ : 3.0未満

### 【高齢化率】

管内	30.6
奈良県	31.3
全国	28.4

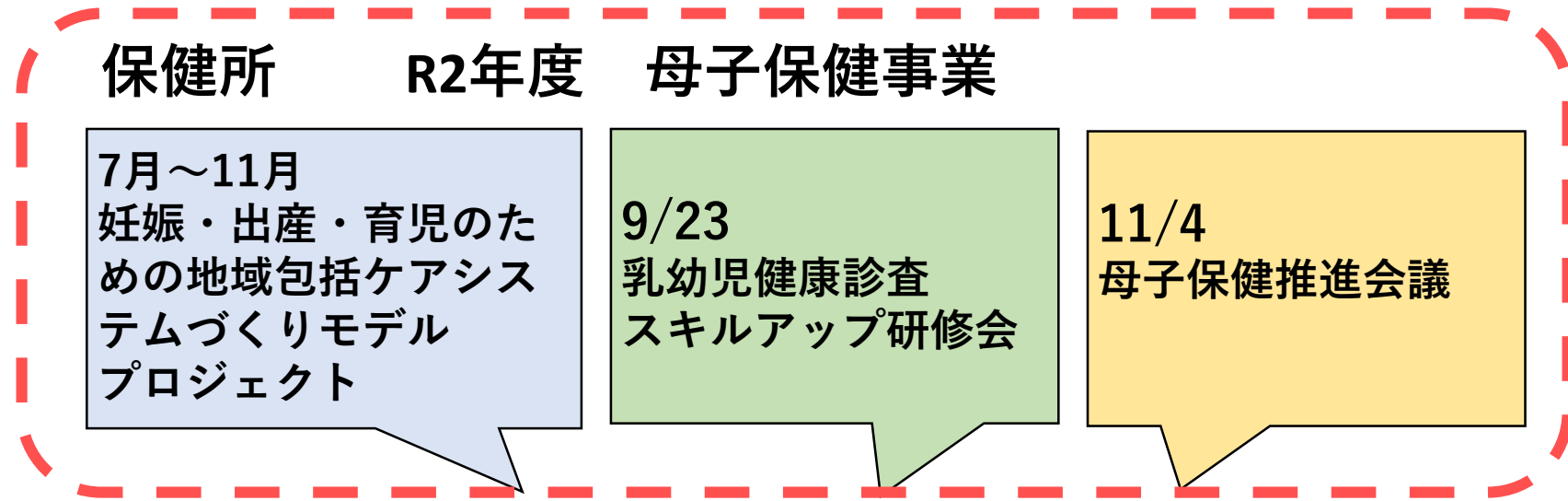
(R1.10.1時点年齢別推計人口)



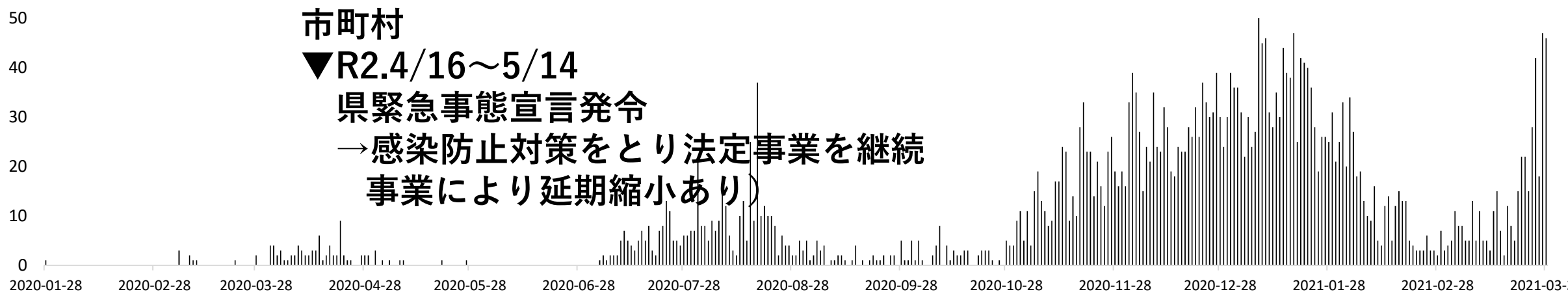
■ : 40.0以上  
 ■ : 28.4以上40.0未満  
 ■ : 28.4未満

【面積】  
 県 : 3,691km<sup>2</sup>  
 管内 : 767km<sup>2</sup>

# 2 covid-19発生状況（県）と母子保健の取組



患者発生数



# 日頃から市町村担当者と顔を合わせて連携・協働する機会

R2.7月～妊娠・出産・育児のための地域包括ケアシステムづくり保健所市町村協働モデルプロジェクト

- ・ 7/27 モデル市町合同会議
- ・ 8月～ モデル6市町に打合せに出向く（各市町2回 計12回）

所内検討

⇒ 各市町の乳幼児健診の感染予防策について状況把握



R2.9/23 乳幼児健康診査スキルアップ研修会（対象：市町村母子保健担当者）

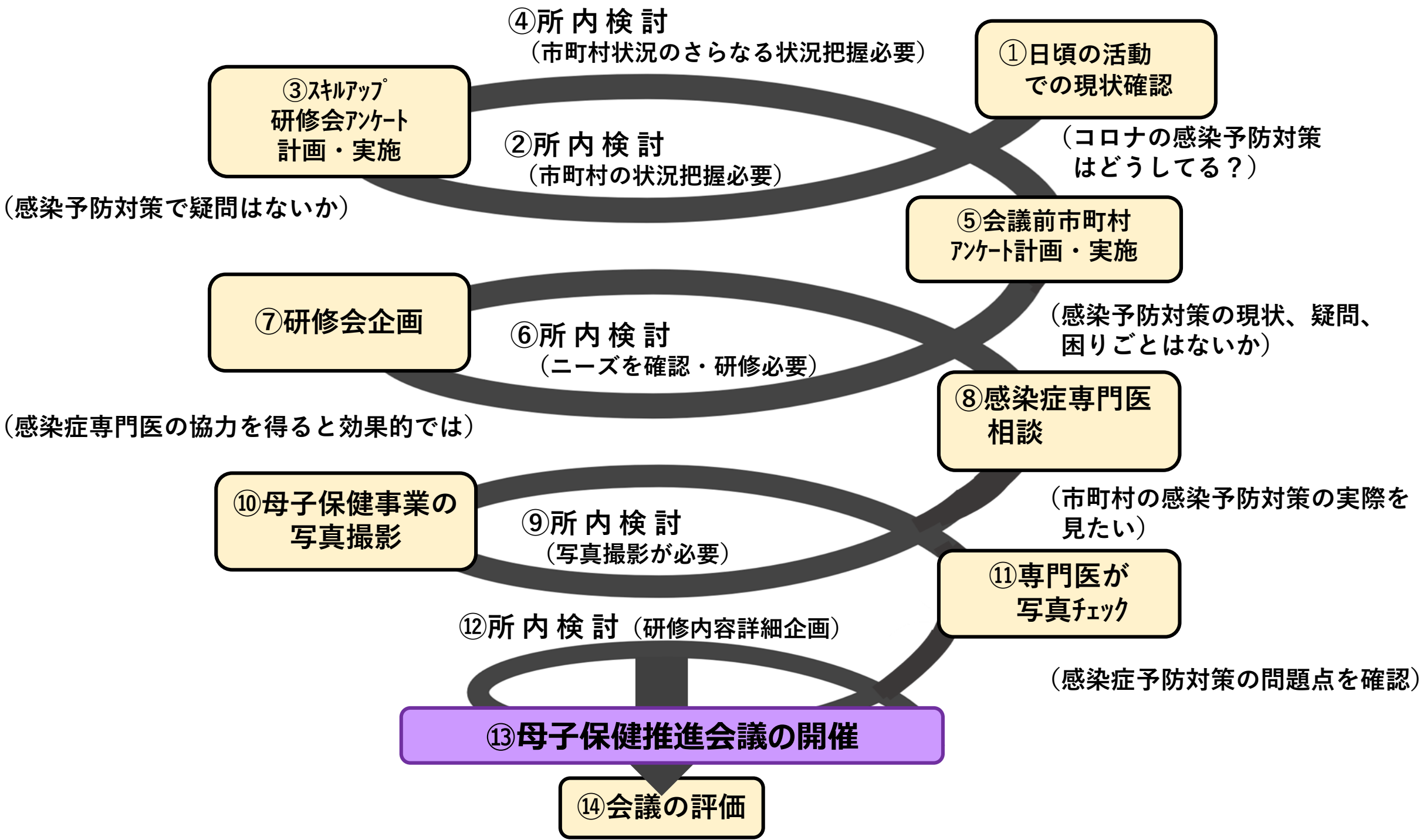
- ・ 研修後アンケートで乳幼児健診での感染予防対策の状況把握
  - ⇒ 感染予防に関する担当者のニーズを確認
  - ⇒ 研修会の企画へ
- ・ 各市町村における母子保健事業での感染予防対策の現状アンケート実施
- ・ 市町に出向き健診場面等の写真を撮影（2市町分 約100枚）  
所内で感染症専門医が感染予防対策を確認
  - ⇒ 感染症予防策の問題点を確認

所内検討

所内検討



R2.11/4 母子保健推進会議（新型コロナウイルス感染予防対策についての研修実施）



# 3 母子保健事業の感染予防対策

各市町村母子保健事業での感染予防対策の現状（会議前アンケート結果抜粋）

カテゴリー	内容
感染予防対策の実施 （マスク着用・消毒・換気）	<b>【従事者】</b> マスク、フェイスシールド、エプロン着用、面接用ガード、手洗い、手指消毒、検温、健康状態の申告 <b>【場所・物品】</b> 相談毎に消毒、ディスプレイ物品使用、サーキュレーター、アクリル板設置換気、窓口に遮断シート、アルコール消毒設置、公用車消毒乳児は敷物（バスタオル）を各自持参 <b>【来所者への対応】</b> 来所時に入口で検温・手指消毒・マスク着用を促す 来庁・退庁者名簿記載
会場の工夫	共有部のおもちゃ、本の撤去、消毒可能なマット使用 相談スペースの間隔を空ける、動線を一方向にする
時間と人数の制限	予約制、利用人数制限、受付時間をずらす、駐車場で待機・携帯で呼出30分程度で実施、事前連絡で日時調整
複数の家族の来所は原則控える	複数の家族の来所を控えるよう案内に記載
その他	コロナが心配で来所を控える対象者には電話対応 必要書類のやりとりは郵送で対応 母子保健推進員活動を中止、訪問を専門職で実施

# 現状把握から見えた課題

市町村担当者への聞き取りや事前アンケート等より

カテゴリー	内容
母子保健事業対象者の特徴を考慮した感染予防対策の困難感	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 子ども同士がふれあい、母親同士が話すので感染予防対策が十分できない</li><li>・ フェイスガードは危なく、子どもが怖がる。</li><li>・ 発達確認、身体計測のために直接ふれる必要があるので感染予防対策をとるのが難しい</li></ul>
独自の基準による感染予防対策実施への戸惑い	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 感染予防対策で最低限守る基準がわからない</li><li>・ 物品、家具（布・皮製品）の消毒方法がわからない</li><li>・ 濃厚接触者と接した家族の事業参加について基準がわからない</li></ul>
事業実施の必要性・マンパワー・コストと感染予防の間でのジレンマ	<ul style="list-style-type: none"><li>・ マンパワー・コストがかかる中での感染予防対策の程度がわからない</li><li>・ 母子の様子をみるために、訪問や面談は大事、できるだけ直接会う方法を継続したいが、どこまで感染予防対策が必要か</li></ul>



# 母子保健推進会議

## 〈目標〉

- ① 新型コロナウイルス感染症の病態と感染予防対策に関する必要な知識を得る
- ② 母子保健事業に関する必要な感染予防対策の基準を知る
- ③ 各市町村で実施されている対策の現状を知り、各市町村の対策に活かす

## ●会議におけるコロナ対策●

- ・参加者の体温測定
- ・各市町村あたり定員2名
- ・会場の換気、マスク着用

〈日時〉 令和2年11月4日(水)

〈場所〉 中和保健所

〈参加者〉 管内市町村母子保健担当者：21名(15市町村) 保健所職員：12名

## 〈内容〉

① 報告 「管内市町村母子保健各事業の感染予防対策の現状について」

② 講演

「新型コロナウイルス感染症の病態と県の動向、母子保健事業に関する感染予防対策について」

講師：南奈良総合医療センター 感染症内科 部長 宇野健司（中和保健所 総務課 主幹）

③ 質疑応答



# 乳児健康診査



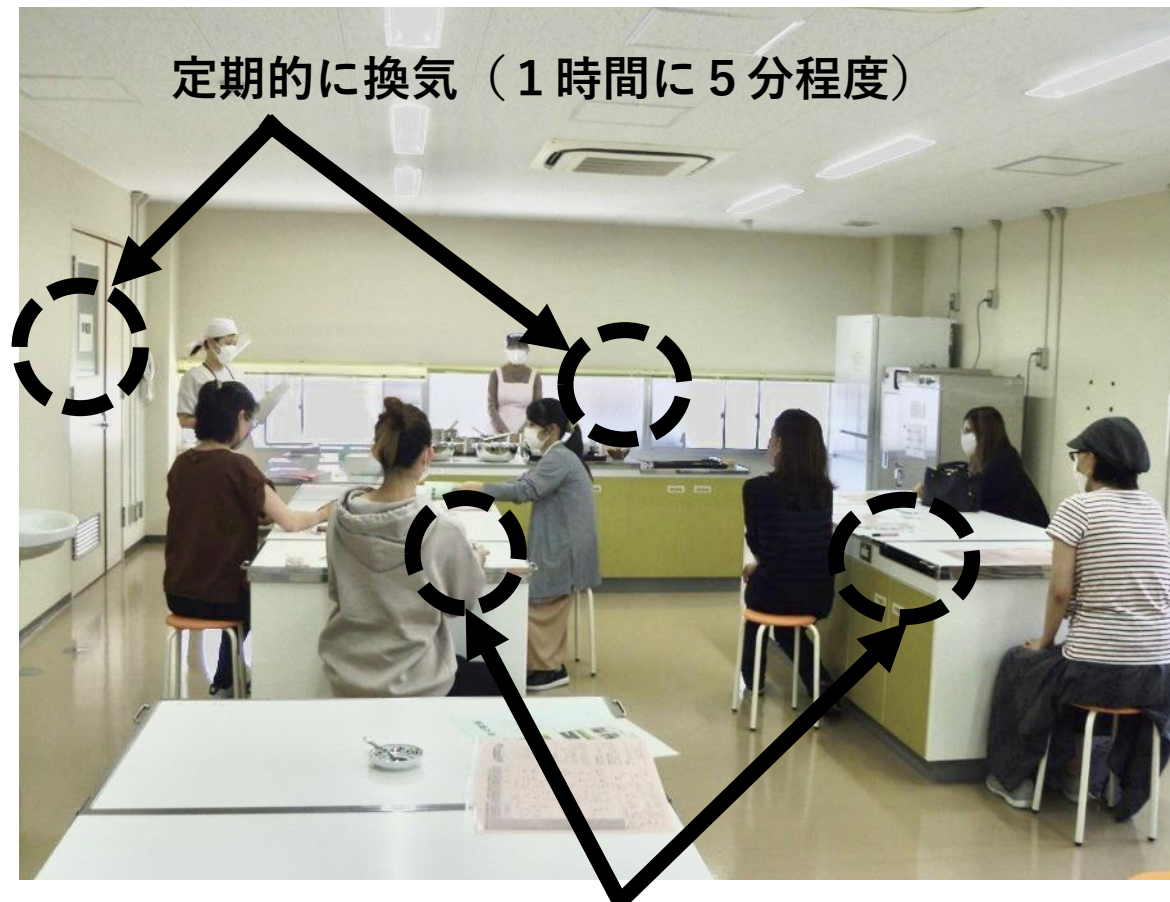
- ・終わった後に触れた物をアルコールで拭く
- ・職員はマスク・アイガード・手袋・エプロンをつける

# 歯科健診



唾液が飛ぶ場所に人・物がある

# 離乳食教室



定期的に換気（1時間に5分程度）

- ・手が洗えるようにする
- ・手指消毒液設置等

# 会議の評価

## 会議後アンケート結果 回収数21 (回収率100%)

### 1 新型コロナウイルス感染症の病態について理解できましたか。

選択肢	回答数	(%)
理解できた	16	( 76 % )
ややできた	5	( 24 % )
あまりできなかった	0	( 0 % )
まったくできなかった	0	( 0 % )

#### ▶自由記載 (抜粋)

- ・消毒の徹底を確認できた
- ・抗原検査、発熱外来の役割を知った
- ・ウイルスの生存期間、発症前から感染性が高いことを知った

### 2 母子保健事業実施に関して基本となる感染予防対策について理解できましたか。

選択肢	回答数	(%)
理解できた	20	( 95 % )
ややできた	1	( 4.8 % )
あまりできなかった	0	( 0 % )
まったくできなかった	0	( 0 % )

#### ▶自由記載 (抜粋)

- ・写真つきでわかりやすかった
- ・接触前後の消毒の必要性が理解できた
- ・エプロンのディスポ化を検討したい

### 3 各市町村で実施されている感染予防対策の現状について理解できましたか。

選択肢	回答数	(%)
理解できた	14	( 67 % )
ややできた	7	( 33 % )
あまりできなかった	0	( 0 % )
まったくできなかった	0	( 0 % )

#### ▶自由記載 (抜粋)

- ・対策に不十分なところを対策していく
- ・他の市町村の対応を知った

## 会議後の市町村担当者に聞き取り

【対策】研修に参加した地域の母子保健担当者に電話

【時期】研修7か月後

【内容】研修後、感染症予防対策で取り入れた内容はありますか

【結果】内容を取り入れている⇒**全地域**

#### 【内容の一例】

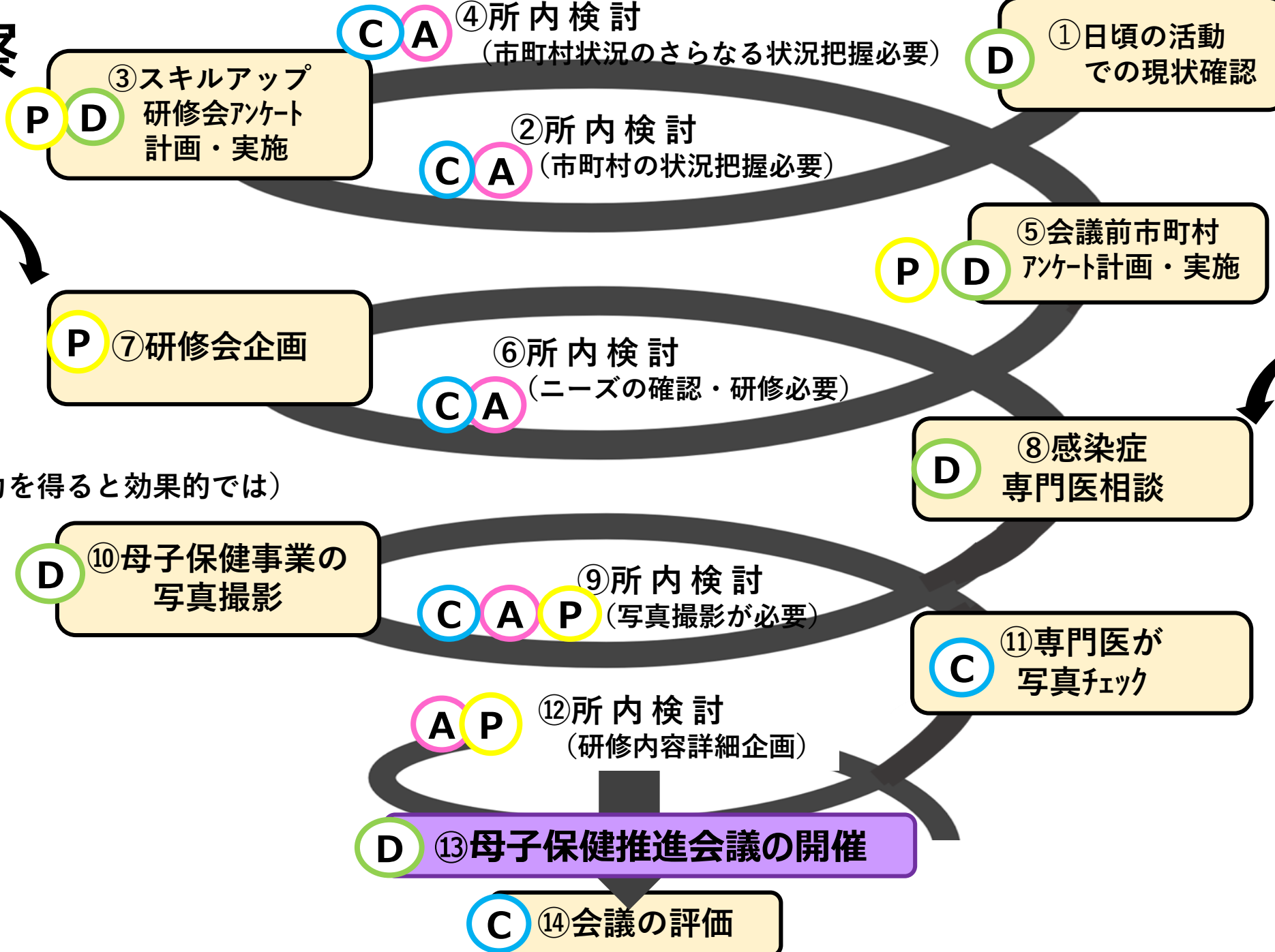
- ・布エプロンをディスポエプロンに変更
- ・アイガードの導入
- ・フェイスシールドの着用
- ・健診時にカーペットの上に消毒可能なビニールを敷いた
- ・健診回数を増やして1回の人数を減らした
- ・ディスポの舌圧子、ミラーを使用
- ・消毒タオルをキッチンペーパーに変更
- ・事業実施時に各テーブルに消毒液を設置・携帯

# 4 考察

市町村

普段から  
連携・協働

感染症  
専門医



(専門医の協力を得ると効果的では)

## 5 まとめ

- 市町村と日頃から積極的に連携・協働する
- 広域的、専門的、公衆衛生的視点で  
市町村と感染症専門医をつなぎ、保健所機能を発揮する
- PDCAサイクルを回し続けて、保健活動を展開していく